



表紙シリーズ／雲仙市の子ども

## 主な内容

P2 平成26年第2回定例会概要

P18 政務活動費報告

P7 常任委員会報告

P20 9月定例会会期日程(案)

P10 市政を問う「一般質問」

# 定例会の概要

平成26年第2回定例会は、6月5日から6月27日までの23日間開催されました。今議会では、各種専決処分事件や補正予算、条例の制定・改定などの議案審議及び12人の議員による一般質問が行われました。

## 雲仙市税条例の一部を改正する条例について

### 軽自動車税が見直されます

#### ○原付、軽二輪及び小型二輪

平成27年度分から、標準税率を約1.5倍（最低2,000円）に引上げ。

車種区分		標準税率	
		現行	改正案
原付	50cc以下	1,000円	2,000円
	50cc超90cc以下	1,200円	2,000円
	90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
軽二輪（125cc超250cc以下）		2,400円	3,600円
小型二輪（250cc超）		4,000円	6,000円

#### ○軽自動車及び小型特殊自動車

①平成27年度分から、軽四輪車等（三輪以上の軽自動車）及び小型特殊自動車の標準税率を、自家用乗用車にあっては1.5倍、その他の区分の車両にあっては約1.25倍に引上げ。

※軽四輪車等については、平成27年4月1日以後に最初の新規検査を受けるものから新税率を適用（平成26年度までに最初の新規検査を受けたものについては現行の標準税率のまま）。

②平成28年度分から、最初の新規検査から13年を経過した軽四輪車等について、標準税率の概ね20%の重課を導入。

車種区分			標準税率		重課税率(②)
			現行	改正案(①)	
三輪			3,100円	3,900円	4,600円
四輪以上	乗用	自家用	7,200円	10,800円	12,900円
		営業用	5,500円	6,900円	8,200円
	貨物用	自家用	4,000円	5,000円	6,000円
		営業用	3,000円	3,800円	4,500円
二輪(再掲)			2,400円	3,600円	—

# 平成26年第2回

## 一般会計補正予算(第1回)の主なもの

### コミュニティ助成事業【新規】

#### ●事業目的

助成金の活用を推進し、市内各地域におけるコミュニティ活動の健全な発展を図る。

#### ●事業主体 地域コミュニティ団体

#### ●補正の理由

地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ろうとする団体に対し、財団法人自治総合センターからコミュニティ助成事業助成金の内示があったため。

#### ●事業費 1,480万円



牛口西地区コミュニティセンター整備

### 地域介護・福祉空間整備事業【新規】

#### ●事業目的

地域における介護施設等の整備事業を推進し、利用者の安心安全な生活環境づくりを図るため、施設整備等に係る支援を行う。

#### ●事業主体 地域密着型サービス提供事業者

#### ●補正の理由 平成26年2月の国の補正予算成立に伴う事業費の計上。

#### ●事業費 4,075万円



## 雲仙グリーンロード安全対策事業【新規】

### ●事業目的

雲仙グリーンロードにおいて、イノシシによる法面の掘り起こし等により落石が頻繁に発生する箇所があるため、緊急的に安全対策を行い、農作物等輸送経路の安全性を確保する。

### ●事業主体 雲仙市

### ●補正の理由

危険箇所の安全対策を行うことにより、通行車輛の安全性を確保するため。

### ●事業費 3,430万円

## 住宅性能向上リフォーム支援事業【新規】

### ●事業目的

市民が住みやすく住宅内での事故を低減するためのバリアフリー化、既存住宅の省エネ化及び安全性を向上させる防災化など、住宅性能の向上を伴う改修工事を行う住宅の所有者に対し、補助対象となるリフォーム工事費の一部を補助する。

### ●事業主体 市内にある住宅の所有者

### ●補正の理由

県から市へ、住宅性能向上リフォーム支援事業補助金の配分額が示されたため。

### ●事業費 1,036万2千円



## 吾妻 吹ノ原幹線改良事業【新規】

### ●事業目的

吾妻吹ノ原幹線を農地整備の区画高、区画割の計画に併せて一体的に整備を行い、営農作業はもとより一般交通の安全性や利便性の向上を図る。

### ●事業主体 雲仙市

### ●補正の理由

この本年度施工予定地区内にある吾妻吹ノ原幹線の一部を「がんばる地域交付金」を活用して整備を行う。

### ●事業費 2,250万円



吾妻吹ノ原幹線

# 賛 否 表

	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	結 果	表 決 数	渡 辺 勝 美	中 村 好 治	佐 藤 義 隆	林 田 哲 幸	坂 本 弘 樹	酒 井 恭 二	平 野 利 和	浦 川 康 二	大 久 保 信 一	深 堀 善 彰	上 田 篤	町 田 康 則	松 尾 文 昭	森 山 繁 一	前 川 吉 治	小 畑 吉 時	元 村 康 一	井 上 武 久	小 田 孝 明	町 田 誠
雲仙市税条例の一部を改正する条例	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

## 国崎半島自然公園に関する要望書 を採択しました

要望書の文面につきましては、抜粋を掲載しています。

雲仙市南串山町中ノ場地区に位置する国崎半島は、小規模ながら県立自然公園に指定されており、炊事棟、トイレ、シャワー室などの整備が完了しており、シーズンになればたくさんの方が訪れています。公園内への進入路は急峻な山坂の遊歩道が1本となっており、利用者にはいささか不便です。

そこで、ジオパーク見学コースともなっている国崎半島への利用者の利便性を図るためにも、車両通行可能なアクセス道路及び駐車場の整備を要望します。

【提出者】 中ノ場自治会 自治会長 福田清治



長崎県立国崎半島自然公園

# 平成26年第2回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第25号	専決処分した事件の承認について (平成25年度雲仙市一般会計補正予算 (第7号))	承認
議案 第26号	専決処分した事件の承認について (平成25年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号))	承認
議案 第27号	専決処分した事件の承認について (平成25年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号))	承認
議案 第28号	専決処分した事件の承認について (平成25年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算 (第7号))	承認
議案 第29号	専決処分した事件の承認について (平成25年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算 (第6号))	承認
議案 第30号	専決処分した事件の承認について (平成25年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算 (第4号))	承認
議案 第31号	専決処分した事件の承認について (平成25年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算 (第2号))	承認
議案 第32号	雲仙市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第33号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第34号	雲仙市千々石川水系用排水路改修基金条例を廃止する条例について	原案可決
議案 第35号	平成26年度雲仙市一般会計補正予算 (第1号) 案について	原案可決
議案 第36号	平成26年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号) 案について	原案可決
議案 第37号	平成26年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算 (第1号) 案について	原案可決
議案 第38号	平成26年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算 (第1号) 案について	原案可決
議案 第39号	平成26年度雲仙市水道事業会計補正予算 (第1号) 案について	原案可決
議案 第40号	動産の買入れについて	原案可決
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
要望 第1号	国崎半島自然公園に関する要望書について	採 択
発議 第2号	雲仙市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決

# 常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
専決処分した事件の承認（平成25年度一般会計補正予算（第7号））	承 認
雲仙市税条例の一部を改正する条例	原案可決
平成26年度一般会計補正予算（第1号）案	原案可決
集団的自衛権の行使容認に反対する請願書	継続審査
要望書（国崎半島自然公園に関する要望書について）	採 択

本委員会に付託された左記の案件について、承認1件、原案可決2件、継続審査1件、採択1件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認（平成25年度一般会計補正予算（第7号））

**意見** ふるさと応援寄附金について、平戸市のように多くのお返しをすることにより、寄附が増えることや物流が生まれることが期待できるため、このような方法についても検討してはどうか。

### 雲仙市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の整備を図るもの。

主なものとして、平成27年度から軽自動車税の標準税率を、約1.5倍（最低2千円）に引き上げる改正など。

**意見** 税改正が行われた場合の市民に対する周知が不足している。十分な説明を行い、理解を得た上で、納付してもらおうまでが一連の業務であると思われるため、他市の事例も参考にしながら、親切的な行政運営を心がけてほしい。

### 集団的自衛権の行使容認に反対する請願書

主な意見として、政府は最も重要な責務としてわが国の平和と安全を維持し、国の存立を全うするため、想定されるあらゆる事態を与党とともに協議されている最中であり、雲仙市議会としても、わが国の安全保障の方向性を見定めることは極めて重要であるので、現時点においては継続した調査が必要であるとの意見が出された。

全会一致で、継続審査すべきものと決定した。

### 要望書（国崎半島自然公園に関する要望書について）

南串山町中ノ場地区にある国崎半島自然公園まで、利用者の利便性を図るためにアクセス道路及び駐車場の整備を要望されたもの。

主な意見として、旧町において予算をかけ、公園の整備が行われており、この公園を生かす

ためにも、道路の整備が必要であるとの意見が出された。全会一致で採択すべきものと決定した。



国崎半島自然公園の現地調査



## 総務

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認（平成25年度一般会計補正予算（第7号）ほか3件	承認
国民健康保険税条例の一部を改正する条例ほか1件	原案可決
平成26年度一般会計補正予算（第1号）案	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認4件、原案可決3件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

**専決処分した事件の承認（平成25年度一般会計補正予算（第7号））**

**質疑** 生活保護費返還金の代表的なものはどのようなものがあるのか。

**答弁** 所得が後で分かった場合による返還金や資産の売却によるもの。また、虚疑の申請の場合がある。

**質疑** スクールサポート配置事業の減の要因は何か。

**答弁** 公募による応募者が少なく4月当初から配置が出来なかった。

**質疑** 埋蔵文化財発掘調査費において、掘削が浅くて済んだから減額になったのか。

**答弁** 当初予定していた深度よりも浅く岩盤に達したためである。

**専決した事件の承認（平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号））**

**質疑** 特定健康診査等事業において、平成25年度の実績はどれくらいか。また、この数値は最近では高いのか。

## 文教厚生

**答弁** 平成26年5月末時点では42・4％である。平成24年度が一番高く44％であったが、過去から見ても2番目に高い数値である。

**質疑** 現時点での基金の残高と余剰金はどれくらいあるのか。

**答弁** 平成25年度時点での基金の残高は3億1200万円程で、余剰金は1億7800万円程である。

### 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

**質疑** 課税限度額を引き上げることによって収入は増えるのか。また、対象者は何名いるのか。

**答弁** 概算ではあるが、620万円程の増となる。また、対象者は373名である。

### 平成26年度一般会計補正予算（第1号）案

**質疑** 保育士等処遇改善臨時特例事業において、市の持ち出し

が増えた理由は。

**答弁** 平成25年度は各県に設置されていた「安心子ども基金」に国が積み増しを行い、処遇の改善を行った。平成26年度は、内閣府の事業に変更になっており、県・市の持ち出し分が設定された。

**質疑** 地域介護・福祉空間整備事業において、要介護高齢者の在宅生活を24時間体制で支援するとあるが、その内容は。また、小規模多機能型居住介護とはどのようなものか。

**答弁** 介護サービス計画に沿って日中でも夜間でも訪問介護・訪問看護を行う。24時間オペレーターが常駐し、利用者から連絡があれば出向いて対応するもの。また、小規模多機能型居住介護とは、デイサービス、ショートステイ、訪問介護、訪問看護を行うものであり、医療が必要な方についても在宅介護を行うもの。

### 動産の買入れについて

市内の学校施設に、パソコン等の機器を購入し、更新を行うことにより、情報通信技術教育の充実を図るもの。

**質疑** 導入が遅くなる学校への配慮はどうするのか。

**答弁** 導入が遅い学校は5年後となる。できるだけ、予算の確保に努め、前倒しで設置したい。また、ICT教育（情報通信技術教育）に差が出ないように学校と協議して進める。



更新が予定されている愛野中学校のパソコン

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認 (平成25年度一般会計補正予算(第7号)) ほか3件	承認
千々石川水系用排水路改修基金条例を廃止する条例	原案可決
平成26年度一般会計補正予算(第1号)案 ほか4件	原案可決
TPP交渉からの撤退を求める請願書	継続審査

本委員会に付託された左記の案件について、承認4件、原案可決6件、継続審査1件と決定しました。  
主な内容は次のとおりです。

**専決処分した事件の承認  
(平成25年度一般会計補正予算(第7号))**

**質疑** 実績による残、入札執行残によるものがほとんどだが、農業費は3億5千万円以上も減額している。予算要求時にもっと精査をすべきではないか。

**答弁** 補助事業はある程度概算見積での要望になるため、このようなかたちとなる。

**質疑** 農業用燃油高騰特別対策事業の目的であったセーフティネット構築事業への加入促進については、今後のためにも、もっと熱を入れるべきではないか。

**答弁** 今後も会議などで周知をはかりたい。

**専決処分した事件の承認  
(平成25年度国民宿舍事業特別会計補正予算(第4号))**

**質疑** バスでの送迎など集客への努力には敬意を表する。収入面を伸ばすためにも、更に宿泊料を下げたお客を増やすことは考えていないのか。

**答弁** この夏は市民の利用を増やすために、市民用のプランを設定し値段を下げたい。

**平成26年度一般会計補正予算(第1号)案**

**質疑** がんばる交付金は大変有利なものである。ほかに該当するもっと大きな道路改良事業の予定はなかったのか。

**答弁** 単年度完了であるこの交付金の条件を踏まえて選定した結果、用地買収、補償を伴わない路線の整備ということで今回のかたちとなった。

**TPP交渉からの撤退を求める請願書**

主な意見として、現在国で交渉の最中であり、きちんとしたものがでていないため、慎重審議した方がよいとの意見がありました。

全会一致で継続審査すべきものと決定した。

**現地調査を実施**

今回の議案に関連する事業について、4箇所での現地調査を実施した。

## 産業建設



国見神代幹線農道改良事業



市道吾妻中突堤線改良事業



雲仙グリーンロード安全対策事業

# 市政を問う

## 12名の議員が一般質問



町田 康則…P10	上田 篤…P12	坂本 弘樹…P14
中村 好治…P11	平野 利和…P13	酒井 恭二…P15
小畑 吉時…P11	佐藤 義隆…P13	林田 哲幸…P15
松尾 文昭…P12	浦川 康二…P14	小田 孝明…P16

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

## 市長などの退職金減額



まちだ やすのり  
町田 康則 議員

**市長・副市長・教育長の退職金の減額は**

**町田議員** 4年間（任期）

の市長退職金が2061万円、副市長1002万円、教育長618万円で、納税者たる市民感情からして受け入れられない。減額すべきでは。

**酒井副市長** 私は経験が浅い。市長・教育長は妥当と思う。

**町田議員** 調査に行った愛知県小牧市では、市長が5期され退職金が1億円を超え、市民も議員もその額の多さにびっくりし減額することになった。金澤市長も今53歳で、71歳まで5任期した場合退職金の総額は1億305万円となる。市長の考えは。

**金澤市長** 5任期は仮定の話なので答弁いたしかねる。

**町田議員** 4年間で2061万円の額は、魚屋など自営者の国民年金の現在支給額6万4千円から見ると約27年分になり、納税者たる市民からしてあまりに多額だと思う。

**新小浜病院の新築計画は**

**町田議員** 今年の2月、公立新小浜病院施設整備の提言書の結論として、埋立地マリーナに建設した方がいいと

なっていたが、埋立地ポートアイランドに建設された神戸中央病院を調査した時、液状化に備え50mの杭を460本（9億円）、免震ゴム157基（3億円）その外、電気、ガス、灯油の非常用家電など二重化で、400床であるが430億円かかったと聞いた。津波も考えたら現在ある病院の場所に建設した方がいいのでは。

**金澤市長** 基本構想を決定して行く中で判断したい。

## 専門職の育成と向上は



なかむら こうじ  
中村 好治 議員

### 専門職の人員配置は

**中村議員** 新組織の事業課

において専門職の配置はなされているのか。専門性の向上はどの様に考えているのか。また各課の工事についてはどのように考えているのか。

**金澤市長** 今後、建築業務

部門の配置については5名全て技術職を計画している。土木職についても計画的に採用していきたい。

**畑中総務部長** 各課の業務

は専門部署に委任するという形で整理させている。

### 自然環境整備の基本である下水道は

**中村議員** 下水道の普及促進

はどの様に計画しているのか。下水道特別会計に一般予算から繰入金金が50%となっているのは重要な問題と思われるが、加入促進についてはどのように考えているのか。また加入金についての詳しい説明を自治会にはしているのか。

**野口建設整備部長** 広報う

んぜん、ホームページの定期的掲載や戸別訪問により、市民に環境保全の必要性をご理解いただき、接続のお願いを続けていく。加入金の減免については供用後5年間の減免処置をとっている。新築に対しても同様の取り扱いとしてある。その他の助成として産業振興部で行っている住宅リフォーム等がある。

## 安心安全な生活環境を



おばた よしとき  
小畑 吉時 議員

### 防災マップの作成・配布は

**小畑議員** 本年4月の新聞

報道で、長崎県下の津波災害が雲仙市でも海拔7mとの想定が報道されたところである。私も昨年の第2回定例会で津波を想定した防災マップの作成を提言して1年が経過したが、その後の市の対応策はどのようになっているのか。

**金澤市長** 議員が紹介した

取り組みは、まさに防災対策の基本的事項であると捉え早速実践に向けて準備させている。

**広瀬市民生活部長** 今年度

中に避難場所の標高・土石流危険渓流・地すべり・急傾斜地危険箇所などを表示した

### 水産資源環境対策は

**小畑議員** 以前の有明海は

アサリ貝や海苔が豊漁で豊かな海であったが近年漁獲量が減少している。水田に生息するジャンボタニシ駆除の薬剤散布が原因の一つと推測されているが、この様な状況に対して原因の調査など市はどのような見解を持っているのか。

**松尾産業振興部長** 一斉防

除は年2回長崎県の防除基準に合わせて行い、ジャンボタニシ等についての薬剤散布も実施している。また資源の確保として栽培漁業推進協議会で稚魚等の放流を行っているが年々漁獲高が悪化している状況の中で、市単独では調査に限度があるので長崎県と一体となって調査研究を進めている。いかなければならないと考えている。

# 入札制度のあり方



まつお ふみあき  
**松尾 文昭** 議員

**これまでの入札の問題点は**

**松尾議員** ①2月27日に発

生した入札契約の取り止めについてはどのように対処したのか。②入札の留意事項の中に、入札後異議申し立てはしてはいけないとあるが何を意味するのか。③その日の入札者に対して一般競争入札に限っては、その日の落札者は辞退する事を定められないのか。④今年度から電子入札が実施されるが、透明性を高めるための改善はされたのか。

**金澤市長** 平成19年度か

ら、入札制度の改善を図ってきた。今後も、一層の競争性を保ちながら公平・公正な入

札制度改革を進めていく。

**酒井副市長**

①については、

公正入札調査委員会を、2回開催し、入札結果を左右すると判断し無効と決定した。②については、建設工事の積算に関する疑義申し立ての取り扱い基準がこれまで明確でなかったために条例等の制定についても検討し、今後は疑義として対応したい。

**畑中総務部長**

③について

は、万遍なく業者が落札できる制度を基本とし、競争の原理、公平に参加いただくことから難しい。④の電子入札については、平成26年4月1日に電子入札実施要項を制定し参加者の希望で立合いランダム決定ボタンを押せる。結果通知は、翌日までに公表を行う。なお、できるだけ当日の結果公表へ向け努力する。

他の質問

- ・土地改良区の事務助成
- ・介護予防

# 解釈改憲は許されない



うえだ あつし  
**上田 篤** 議員

**憲法問題は市民に身近で切実な問題**

**上田議員** 国会では集团的

自衛権が大問題となつている。これは、市民にとって身近で切実なものだ。憲法には主権者は国民とあり、96条には憲法の改正は最終的には国民投票による、とある。集团的自衛権とはどういふものか。

**金澤市長**

直接に攻撃を受けている他国を援助し、これ

と共同で武力攻撃に対処する、というものだ。第3国が集团的自衛権を行使するには、宣戦布告を行い、中立国の地位を捨てる必要がある。

**上田議員**

元防衛庁幹部が

「解釈を変えたら米国の要求を断れない。自衛隊に入る人が減り、徴兵制が必要になる」と言っている。非常に心配だ。

**金澤市長**

国会での議論を注視していきたい。

**上田議員**

安倍首相は初め

明文改憲を狙い、次に改憲手続きの緩和、そして今回は閣議決定を持ちだしてきた。憲法で決まった手続きを踏まずに、国政の大転換を解釈の変更で行うことは絶対に許されない。

**金澤市長**

手続きについて

もいろいろな考え方があろう。国政の場で十分な議論を行うべきだ。

他の質問

- ・諫干調整池のアオコ問題
- ・福祉タクシー事業

# 人口減少対策と防災



ひらの 平野 としかず 利和 議員

## 人口減少対策は

**平野議員** 先日新聞に

896自治体の若い女性半減との記事が載っていた。本気で雲仙市での人口減少を考えなければならぬと考える。今後どのような対策を考えているのか。

**金澤市長** 全庁一丸となっ

て、様々な施策を展開し、市民の満足度を高め、人口減少対策につなげたい。

**平野議員** 私の提案である

が、仮称「人口減少対策本部」を創設し本格的に議論する場を設けてはどうか。

**金澤市長** 全庁的に取り組

むプロジェクトチームを立ち上げ対策を早急に練っていく。

## 教育行政は

**平野議員** 人口減少に伴い

教育現場では廃校があつているが雲仙市においてどのような対策を考えるのか。

**山野教育長** 学校が地域の

コミュニティ的な存在にあるとの考え等から統廃合は現在のところ考えていない。

## 防災・減災は

**平野議員** 高齢者・障がい

者の方達を把握した地域防災に力を入れるべきではないか。

**広瀬市民生活部長** 防災講

習会など自主防災訓練の実施に向け対応を進めていく。



鍋島邸防災訓練

# 千々石海岸のゴミ対策



さとう 佐藤 よしたか 義隆 議員

## 清掃作業員の雇用は

**佐藤議員** 日本の自然百

選・日本の白砂青松百選に昭和58年と昭和62年に選ばれ、顕彰を受けている。

この千々石海岸の海浜地は

毎年、漂着ゴミが多量に流れ着いている為、ゴミ対策が問題となっている。

ゴミの漂着の多い時期にゴ

ミ回収を行なう作業員の雇用をする考えはないのか、市長の見解を伺いたい。

**金澤市長** 千々石海岸は、

議員のご紹介のとおり、2つの百選に選ばれており、雲仙市を代表する観光地、海水浴場の1つである。

この千々石海岸を含めた雲仙市の海岸の漂着ゴミについ

ては、市が管理する漁港海岸の環境保全の観点から、市民生活に影響を及ぼす場合は、その都度対応することとしていますが、議員がお尋ねの期間限定で常時の清掃については、海水浴シーズンに限って清掃業務の委託について研究していきたい。

**佐藤議員** 台風の上陸等があつた場合は、どのような対応をするのか。

**松尾産業振興部長** 台風の

時には、その都度、委託費の予算で対応したい。



千々石海岸

# 人口減少の具体策は



うらかわ やすじ  
浦川 康二 議員

## 人口減少の具体的施策は

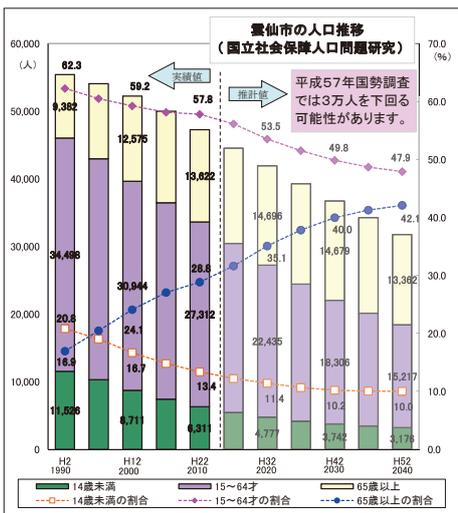
**浦川議員** 雲仙市の人口減少の現況と今後の推移及び市の人口減少対策は。

**金澤市長** 合併発足時から5年間で27,533人減少、市の将来推計人口は平成52年には3万1,755人と推計されている。人口減少は経済成長、産業、社会保障、地域活動等に影響を及ぼすので、早期対策が重要であり、総合計画を基本として施策を研究する。

**浦川議員** 婚活支援策は消極的であるが、行政主導の支援は、こし団体の支援策の

**金澤市長** まちお

こし団体の支援策の



**浦川議員** 納期が4月のため、5月連休前後の納税証明書受領できない問題点の解決は。

**広瀬市民生活部長** 5月納期への変更を想定し、問題点を研究してその方向で進めて行く。

## 軽自動車税の納期改定は

**浦川議員** 新制度の子ども子育て支援計画の諮問内容は。

**岸川市民福祉部長** 事業計画の策定、保育所・幼稚園等の利用設定や子育て支援施策等を諮問する予定。

みが現実であり、今後さらに研究していく。

# 地方公会計制度改革は



さかもと ひろき  
坂本 弘樹 議員

## 市の経営基盤強化策は

**坂本議員** 平成18年6月の行政改革推進法の制定に始まり、地方公会計における発生主義の活用、複式簿記の導入に取組み、固定資産台帳の整備、貸借対照表等財務書類の整備が要請されているが、対応は。

**金澤市長** 平成21年度から公会計制度改革に取り組んでおり、現在簡易な総務省方式改訂モデルにより、決算統計データを基に書類を作成している。今後は、今年度中に国から示される地方公会計制度の具体的なマニュアルを踏まえ、複式簿記等の研究を含め段階的に調整しながら、平成29年度を目標に取り組む。

よっては家賃負担が重いケースもあると聞いている。民間の活力を活かせるよう研究していきたい。

## 市営住宅に民間活力を

**坂本議員** 公会計改革を行うためには、複式簿記の知識を有する職員、財務書類を作成・分析・活用できる職員が必要である。人材育成は。

**坂本議員** 財政が厳しい折、市営住宅の建て替えをやめ、家賃補助等による民間賃貸住宅を利用できないか。

**金澤市長** 市民の民間賃貸住宅は増加しており、適合する住宅があれば市外から移住可能な話や障がい者で事情によ



市営住宅

# 今後の島原鉄道支援は



さかい きょうじ  
酒井 恭二 議員

**これまでの島原鉄道(株)に対する支援は**

**酒井議員** 島原鉄道(株)のどの部門に年間どれ位の支援をおこなっているのか。

**金澤市長** 平成25年度の補助内容は、鉄道部門に安全性の向上に資する設備整備費用として713万1千円、自動車「バス」部門には、赤字路線の費用補助として1368万8千円支援している。

**これからの島原鉄道(株)支援は**

**酒井議員** これまでの支援とどの様に違うのか。

**広瀬市民生活部長** 鉄道部門で鉄道安全施設整備事業の島鉄自身の負担をなくし、国、

県、関係市それぞれ3分の1負担し、今後10年間で総事業費32億8680万円補助する。雲仙市は10年間で3億2880万円補助する。また運営維持支援としても各市年間上限1千万円を補助する。

**酒井議員** 鉄道安全施設整備費の事業者負担をゼロとはどの様にして決められたのか。

**広瀬部長** 自治体連絡協議会で、三セクで運営されている松浦鉄道支援を参考に同様の補助をする事とした。

**酒井議員** 10年間の施設整備補助終了後、島原鉄道の目論見(もくろみ)はどの様になっているのか。

**広瀬部長** 一番の期待は長崎新幹線ルート開業だが、10年後以降については試算していない。

**酒井議員** 本年度からの10年間の多額の補助が将来に向けた投資となる様にしなければならぬと思うが。

**広瀬部長** 10年間については実績等を精査し、必要性についても検証して行く。

# 市民サービスは平等に



はやしだ てつゆき  
林田 哲幸 議員

**小学校のプール利用**

**林田議員** 小浜地区の小学校にはプールがなく、夏休みにはリフレッシュセンターの利用補助券4枚の配布。1回につき自己負担100円。もし学校にプールがあるならば負担がなくなるがどう思うか。

**山本教育次長** 小浜地区の小学校の皆様には迷惑をかけている。

**林田議員** 今後この補助の範囲を広げる考えはないか。

**山本次長** プール利用補助制度の改善に向けて検討したい。

**公共施設の在り方**

**林田議員** 管理運営を効率的に進める方策はあるのか、市民サービスの観点から再検討する考えはないか。

**金澤市長** 施設を効率的に管理するためには特定の部署に集約して所管させることが望ましい。ただし、多くの施設が国・県の補助金や地方債などを財源として整備されており、申請内容と異なる状況が生じる場合には国・県などと協議を行い、内容次第では補助金返還や地方債の一括償還を求められることがあることから、慎重な対応が必要。

**他の質問**

・ねんりんピックの誘致

## 雇用・つどい・憩い



おだ こうめい 議員  
小田 孝明

### 多比良港埋立地の活用は

**小田議員** 長崎国体馬術競技後の土地利用計画は。

**金澤市長** 市内でまとまった面積が確保できる貴重な土地である。雇用・賑わい・憩いを基本理念に、地域の活性化の場所として活用したい。

### 入札のやり直しは避けるべきでは

**小田議員** 平成24年愛野運動公園の入札後、また今年2月に木指漁港関係の2件を入札無効として入札をやり直した理由は何か。

**酒井副市長** 業者の工事内訳書と市の積算額に差があり、市の違算が判明し入札無効とした。

**小田議員** 愛野の件が共通仮設費約130万円、木指の2件がおのおの約50万円で全体予算額の1%程度である。変更契約で対応できたのではないか。

入札やり直しが禍根として残らないことを願うが、今後何らかの要綱等を考えることはないのか。

**畑中総務部長** 重要な課題と思っている。要綱等についても十分論議して検討したい。

**小田議員** 雲仙地区の下水道事業は使用料と運営費の差が大きいのは。

**金澤市長** 雲仙地区の運営費と料金収入のバランスが悪くなっている。今後全地区の異なる料金体系を見直し運営費を賄える料金設定を研究したい。

### 下水道事業の収支

**小田議員** 雲仙地区の下水道事業は使用料と運営費の差が大きいのは。

**金澤市長** 雲仙地区の運営費と料金収入のバランスが悪くなっている。今後全地区の異なる料金体系を見直し運営費を賄える料金設定を研究したい。

## 全国市議会議長会表彰



写真左より、前川治議員、松尾文昭議員、町田康則議員

平成26年5月28日に東京で開催された全国市議会議長会第90回定期総会において、長年にわたり地方自治の発展と振興に貢献した功績により4名が表彰を受け、定例会の開会日に議場において、表彰状の伝達が行われました。

- 前川 治議員 (議員15年以上)
- 松尾文昭議員 (議員15年以上)
- 町田康則議員 (議員15年以上)
- 前田 哲前議員 (議員10年以上)

※勤続年数については、町議会議員の年数を2分の1加算しています。

# 議会運営委員会視察報告

5月7日から9日までの3日間で、宮崎県えびの市議会、大分県佐伯市議会において議会運営委員会の視察研修を実施しました。

## ○定例会の運営について

えびの市議会（議員定数15名）、佐伯市議会（議員定数25名）両議会とともに一般質問よりも先に議案質疑を行っていることや、一般質問の発言順をくじ引きで決めていることなどが雲仙市とは異なっている。発言順については雲仙市の場合、通告の順番通りであるためケーブルテレビの放送時間や午前、午後などを気にしながら通告のタイミングを図っている現状があるため、今後検討の必要もあると思う。

## ○議会報告会について

えびの市では平成22年度から佐伯市では平成23年度からそれぞれ議会報告会を実施している。報告

会についてはどちらも参加者が少なく高齢者が殆どだとか、個人の要望など問題点が多く、開催時間や内容の検討が必要であるとのことであった。



## 「長崎がんばらんば国体」 10月に開催されます

第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体2014」は、10月12日（日）から22日（水）まで県内各地で行われます。

雲仙市においてはサッカー（少年男子）、ボクシング、馬術競技の3種目、またデモンストレーション競技としてアヅマクロスが開催されます。

雲仙市議会としても、来仙される選手の皆様のご活躍と、大会の成功を祈念しています。

市民の皆様もぜひ会場へ足をお運びください。

また、第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会2014」は11月1日（土）から3日（月・祝）に開催されます。



長崎がんばらんば国体馬術競技リハーサル大会兼第50回九州馬術大会で表彰を行う大久保議長

# 平成25年度（後期）政務活動費収支報告集計結果

## ◆ 政務活動費とは？

議員の政務活動に必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるお金です。雲仙市では、一人当たり月額15,000円〔年額180,000円〕が補助金として交付されます。

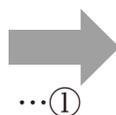
## ○ 交付額：15,000円×4カ月×20名＝1,200,000円

※1：1名は申請なし

※2：交付対象月：12月から3月までの4カ月

平成25年度後期分は11月改選のため、12月以降の4カ月分が交付対象となります。

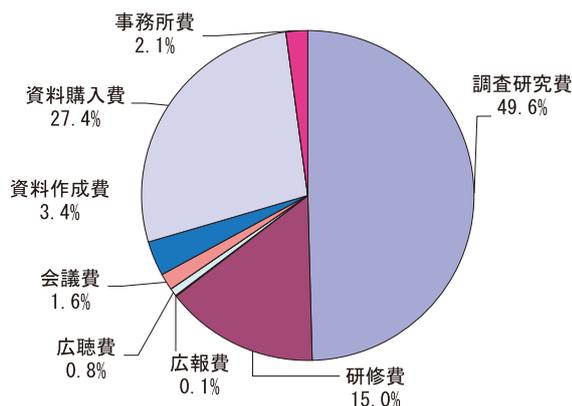
内訳	金額
交付額	1,200,000円
返還額	271,911円
実績額	928,089円



【返還額内訳】返還者9名		
■3万円未満	4名	計 34,011円
■3万円以上	5名	計237,900円

## ○ 収支報告集計結果

科目	金額	主な支出項目
調査研究費	574,592円	政務活動旅費、行政調査旅費、携帯電話代、固定電話代、インターネット利用料
研修費	173,340円	政務活動旅費
広報費	1,176円	議会報告新聞折込料
広聴費	8,941円	携帯電話代
要請・陳情活動費	0円	
会議費	18,960円	政務活動旅費
資料作成費	39,478円	消耗品費、電子辞書代、名刺代
資料購入費	318,037円	新聞購読料、書籍・図書購入費
人件費	0円	
事務所費	24,449円	プリンター代、インク代
合計	1,158,973円	…②



### 【注意】

実績額①（928,089円）と収支報告集計結果の合計額②（1,158,973円）が同額とならないのは、議員1人当たりの補助金上限額が6万円となっており、支出が超過した分は議員個人が負担しているためです。

よって、収支報告集計結果の合計額②の方が大きくなります。

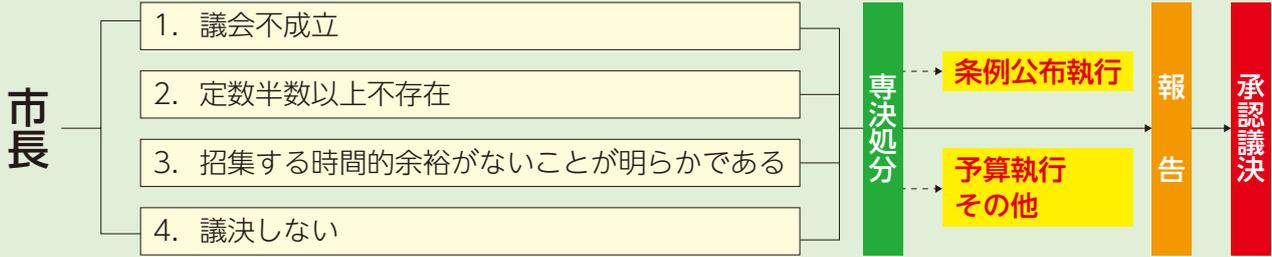
# 議会用語解説

## 市長専決と議会承認について

### 専決処分とは

本来議会の議決が必要な事項について、議決をせずに首長自らが決めること。専決処分した場合は次の議会で報告し、承認を求めなければならない。

次の1～4に該当するときに認められている。



問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

-----  
-----  
-----  
-----

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

-----  
-----  
-----  
-----

ご協力ありがとうございました。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、52円切手をお貼りください)

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。

# 議会を傍聴してみませんか？

平成26年第3回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は  
**8月28日（木）～9月26日（金）**です

■一般質問	9月1日（月）～4日（木）	
■議案質疑	9月8日（月）	
■委員会		
産業建設常任委員会	9月 9日（火）、10日（水）、11日（木）	
文教厚生常任委員会	9月12日（金）、16日（火）、17日（水）	
総務常任委員会	9月18日（木）、19日（金）、22日（月）	

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。  
 ※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

## 編集後記

最近、セクハラやじ発言が問題となっておりますが、雲仙市議会において、こういう発言はないものと信じます。

合併から9年経ちますが、地域や世代、性別などで差別されないよう、差がでないように我々は日ごろから留意しています。政務活動費については、18ページに掲載しておりますが月額1万5千円の税金を大切にに使わせてもらっています。

（林田 哲幸）



### 議会広報編集特別委員会

委員長 浦川康二

副委員長 佐藤義隆

委員 上田 篤、林田哲幸  
 中村好治、渡辺勝美

## 郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが  
 52円切手を  
 お貼り下さい

長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局  
 「議会広報編集特別委員会」 行

（議会だより39号）

ふりがな  
 ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく場合、イニシャルやペンネームを希望される場合は記入ください。

ご住所

電話番号( )-( )-( )